

2023 年度 中部学院大学入学式 式 辞

新入生の皆さん。中部学院大学への入学おめでとうございます。

そして、ご来賓の皆様におかれましては、お忙しいご公務の中、本学の入学式にご列席賜り、誠にありがとうございます。

本日、大学院、通信教育部、別科、編入学を含め 506 名の入学者をキャンパスに迎えることは、私どもにとってこの上ない喜びであり、中部学院大学教職員を代表して心から歓迎します。またこの場をお借りして、今日まで皆さんを支えて下さった方々にも衷心よりお祝い申し上げます。

入学式にあたって新入生の皆さんにまずお伝えしたいのは、本学がキリスト教を基軸として「生きる、を学ぶ」を標語に掲げ、人材を育成していることです。それゆえに、人の役に立ちたい、そのために学びたい人を、本学は全力でサポートいたします。

次に、大学生として心がけて頂きたいことを幾つか申し上げます。

まず、勉強の仕方がこれまでとは全く違うことをしっかり認識して下さい。これから皆さんが学ぶのは、国語、数学、社会などの既存の学問に加え、教授陣が努力を重ね築いてきた福祉、教育、医療、あるいはスポーツ健康科学に関する新しい学問です。これらの学問分野において、知識や技能を体系的に学ぶと同時に、物事の考え方や成り立ちを学んでいくこととなります。

勉学についてもう一つ申し上げます。特に一年生での勉強が極めて重要であるということです。これまでとは異なった勉強の習慣と方法を身につけるのは一年生です。実際、卒業時の成績は一年前期・後期の成績と一番強く関係しています。ですから、一年次の導入教育から全力で励んで下さい。

本学は、クラブ活動を通じた人間形成と人材育成に取り組んでいます。とりわけ、ゴルフ部、空手道部、剣道部、吹奏楽部、硬式野球などの活躍が目覚ましく、団体や個人で全国大会に数多く出場しています。クラブ活動で築いた実績、技術や経験をもとに、ごく一部の人はプロスポーツの世界に進んでいきます。しかし、大部分の学生さんは民間の企業等に就職することとなります。すなわち、クラブ活動を通じて体力や技能を高めるとともに、多くの友人と出会い、多様な考え方、多様な行動様式に触れ、他者を尊敬し敬意を表すことの大切さを学びます。このようなクラブ活動の中で考え、悩み、得られたものを言葉で表現すると、

「しなやかに、たくましく生き抜く力」であると言えます。皆さんが本学を卒業した後どのような地域で生活するにせよ、あるいはどのような会社に就職するにせよ、この「しなやかに、たくましく生き抜く力」は皆さんの基本的な力になると信じています。従いまして、1年生のときからデュアルキャリアについても心がけてください。

3年前の春から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、社会だけでなく大学生活も大きな影響を受けてきました。しかし、このパンデミックは少しずつ終息の兆しが見えてきました。

一方、2022年2月23日、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、1年以上経過しています。この侵攻に起因して、石油や天然ガスなどエネルギー資源の高騰、穀物資源の不足と高騰、さらにはあらゆる生活必需品の高騰が続き、日本のみならず世界の経済が大きく影響を受けています。このように、今後予測できないこと、当たり前ではないことが頻繁に起こりうる社会で、皆さんが学び生活していくこととなります。どんな時でもその現象や状況を自分で考え、自分で判断し、自分で行動できる力を身につけてください。

結びに、2年前より新入生全員にタブレット型パソコンを一人1台お渡ししています。その訳は当初、新型コロナウイルス感染症への対策であり、テレビ会議を用いた遠隔授業やオンデマンドの授業を実施するためでしたが、現在ではICTすなわち情報通信技術を活用して皆さんの学修を一層豊かにするためです。小さなパソコンですので、毎日大学に持ってきてください。また、毎日パソコンを見て大学や学科からの連絡事項、授業での資料配布、レポートの提出などに活用してください。

以上、今日から一日一日を大切に、大学生活を楽しんでくださいと申し上げ、式辞といたします。本日は、おめでとうございます。

2023年4月2日
中部学院大学
学長 江馬 諭